

殺菌剤

プロポーズ®

顆粒水和剤

べと病・疫病に
2成分で優れた効果

予防

治療

と

残効性

耐雨性



ブロッコリーに
適用拡大!



100g

500g



殺菌剤

プロポーズ[®] 顆粒水和剤

- 有効成分：ベンチアバリカルブイソプロピル…5.0%
TPN…50.0%
- 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

① 2つあわせて優れた効果

べと病・疫病に対し予防効果・治療効果の高いベンチアバリカルブイソプロピルと、幅広い病害に予防効果の高いTPNとの混合剤です。感染前から感染初期の散布でべと病・疫病に卓効を示します。

② タフな殺菌剤

葉内への浸達性に優れ、長い残効性や高い耐雨性を有し、安定した防除効果が期待できます。また、既存剤に抵抗性を示す各種耐性菌にも効果を発揮します。

③ 使いやすい!

散布液調製時に粉立ちが少なく溶けやすい顆粒水和剤です。

■適用病害及び使用方法

2018年11月現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 使用用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ベンチアバリカルブ イソプロピルを含む 農薬の総使用回数	TPNを含む農薬の 総使用回数		
きゅうり	べと病	1000~1500倍	100~ 300g	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	10回以内 (土壌灌注は2回以内、散布及びくん煙 及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内)		
	褐斑病、うどんこ病、黒星病	1000倍						6回以内 (土壌灌注は2回以内、散布及びくん煙 及びエアゾル剤の噴射は合計4回以内)		
トマト	疫病	1000~1500倍							2回以内	2回以内
	葉かび病	1000倍						3回以内 (は種又は定植前の土壌混和は 1回以内、散布は2回以内)		
ミニトマト	疫病	1500倍		出蕾前但し、 収穫21日前まで	3回以内			3回以内 (土壌灌注は1回以内、 散布は2回以内)		
はくさい	べと病、白さび病、 黒斑病、白斑病	1000倍						収穫7日前まで	3回以内	3回以内
	ブロッコリー			べと病	3回以内					5回以内
かぼちゃ		べと病、疫病、うどんこ病		1500倍				収穫7日前まで	5回以内	
すいか	褐色腐敗病、炭疽病	疫病			収穫3日前まで					3回以内
アスパラガス	疫病			1000倍				収穫前日まで	3回以内	
たまねぎ	べと病、白色疫病、 灰色かび病	750~1000倍 250倍	収穫7日前まで		5回以内	5回以内	5回以内			
ばれいしょ	疫病			1000倍				収穫前日まで	4回以内	4回以内
	なす	褐色腐敗病、すすかび病	1000倍		収穫3日前まで	5回以内	5回以内			
メロン	べと病、つる枯病	1000倍		収穫14日前まで				2回以内	2回以内	3回以内 (は種又は定植前の土壌混和は1回以内、 散布及びエアゾル剤の噴射は合計2回以内)
キャベツ	べと病		1000倍		収穫14日前まで	3回以内	3回以内			4回以内 (土壌灌注は1回以内、散布は3回以内)
	ねぎ	べと病、葉枯病		2回以内				2回以内	2回以内	
だいず	茎疫病、べと病、紫斑病	1000倍	収穫21日前まで		2回以内	2回以内	2回以内			
らっきょう	白色疫病			1000倍				収穫14日前まで	3回以内	3回以内

上手な 使い方

- 長い残効と予防、治療効果を活かし、べと病や疫病の重点防除期での使用をお勧めします。
- 治療的散布でも卓効を示しますが、病気がまん延してからの散布では効果が劣りますので、初発病斑を見つけたら直ちに散布し、病気のまん延を防ぎましょう。
- 病害を効果的に防除するために、発生予察を心がけましょう。

⚠ 使用上の注意事項

- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- あんずに対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意してください。
- ばれいしょに対して希釈倍数250倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後

は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。

- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようし、施用した作物などとの接触を避けてください。
- 夏期高温時の使用を避けてください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないよう調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川などに流さないでください。また、空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2018年11月現在の知見に基づき作成しています。